

とヒーリング通信は平川の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という気持ちでお届けしています。当然ですが無料です。

ひとつひとと通信

2020年6月21日飛行

207号

二つとも函信、は

おもしろいところ。
いつも読んでいたとき
アリがとうございました。

こんにちは！平川です。2年前より、有志が集まり「糸島お客様づくり実践塾」という勉強会をしています。毎回テーマを変え、営業やマーケティングについて10人前後でディスカッションしています。次回で70回目です。と「うがうが」3月よりコロナウイルスで開催が難しくなり、現在はズームで行っています。テーマを「あなたのおススメの本もしくは映画を教えて下さい」としたところ、これが思いのほか、盛り上がりました。伝える方は、話し方の練習になりますし、聞く側は、おススメを知ることが出来ます。今では定番のテーマとなりました。

さて話は変わります。私は好きな事が三つあります。映画を見る。本を読む。セミナー等での体験談を聞く。です。「これらには共通点がある」といふは、ほんの数時間(本は数日)で、他人の人生を疑似体験できることです。まるで自分の事のように、喜び、悲しみ、怯え、など感情移入ができます。ひいては共感力を養うこと



探していく間に停車中の電車内で眠ってしまいます。そのままサルーを乗せた回送列車は、ノンストップで2晩走り、大きな駅に到着します。そこはサルーの家から1600キロ離れた（福岡から札幌までよりも遠い）インドの大都市カルカッタでした。言葉がまったく通じず、誰からも相手にされません。そのうちサルーは駅の地下構内でホームレス生活を始

す。今でも10万人ものストリートキル
ドレンが路上で生活しています。
そんな子供たちを狙って、臓器売
買や児童買春などの犯罪も珍
しくありません。実際に映画の中
でも、大人が子供を追いかけ、小脇
にかかえて連れて行くシーンがあり
ます。そこには日本では考えられない、恐ろしい現実があり、やるせな
い気持ちになりました。

を見逃さないで下さい。衝撃の事実が書いてあります。思わず「えー、うそやん」と声が漏れ、切ない気持ちになりました。

「かなり、現在はズームで行っています。テーマを「あなたのおススメの本もしくは映画を教えて下さい」としたところ、「これが思ひのしたところ」。伝える方は、話しかけ方の練習になりますし、聞く側は、ほか盛り上がりました。おススメを知ることが出来ます。



された人生である」と。では、先日見た映画をご紹介します。

では、本日もはりきっていきましょう!

LION/ライオン 25年目のただいま

(あらすじ)一九八六年、インドのスラム街で暮らす五歳の少年サルーが主人公です。ある日、大好きな兄と仕事に出かけますが、そこで兄とはぐれ、

どれほど大きいか。また大都会での
ホームレス生活がどれほど怖いか。
想像しただけでも胸が張り裂け
そうになりますが、救いは彼の周囲に
は、優しい人が沢山いたことです。
そこでこの映画の感想を2つ。
サルーがホームレスをしたカルカッタは、
昔から貧困と大気汚染で有名で

べて分かったことです。それはスーザンを演じたニコール・キッドマン自身が、元夫のトム・クルーズとの間に二人の養子を迎えていたのです。頭枕を下がります。まさにこの映画は、自身を撮影したよつなストーリーでした。そしてもしこの映画を見られたら、エンドロール

「通信」は
略して
いつも読んでいた
ありがとうございます。

につながります。人生の教訓や生き
る指針を見いだすこともあります。
そして何よりも、現実に戻った
時、この普段の生活に有難みを
感じます。サスペンス映画の巨匠、アル
フレッド・ヒッチコックが言っています。
「ドラマとは、退屈な部分がカット

オーストラリアへ養子として引き取られます。それから25年後、サルーはかすかな戻憶と、Google Earth(グーグルアース)を頼りに「イングランド」住む実の母と兄を探し始めます。

いかがでしょうか?・あらすじだけでも感動しありますが…、これ実話です。5歳といえば、年中・年長さんです。その年頃の子にとって母親の存在が

この日の感想です。サルーを引き取って育てる母親、スーザン・ホール・キッドマンのセリフです。「世界」は人であります。子供を産んで世界が良くなることは限らない。恵まれた子たちを助けるほうが、意義がある」と。スーは産める身体なのに、見て世の中の貢献のために、養子を引き取る選択をします。私は驚きました。こんな考え方の方が本当にいるのか。と困ったのですが、実は現実でした。